

7-8 地殻活動総合観測線および伊豆半島における観測結果（暫定値）
（1995年11月1日～1996年4月30日）

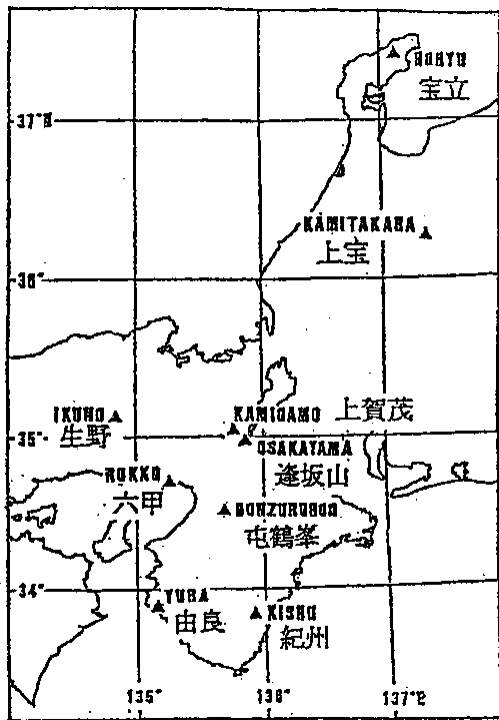
**Results from Monitoring Chains of Crustal Actuvutues in Kinki District and
from Observations at the Izu Peninsula (Tentative Values)
(November 1995-April 1996)**

京都大学防災研究所
Disaster Prevention Research Institute
Kyoto University

北陸近畿および近畿山陰両観測線の上宝、宝立、逢坂山、上賀茂、屯鶴峯、由良、生野、六甲鶴甲および紀州の9観測点で観測された地殻ひずみおよび傾斜について報告する。観測点の位置は第1図に示す通りである。また、伊豆半島の河津と湯ヶ島で観測された同じ期間のひずみ変化を示す。

紀州の傾斜ベクトル（第6図）は、N89°EとN129°E方向の2成分の観測結果から合成したものである。第2図から第8図までの時間変化のグラフは成分毎に縦軸のスケールが異なること、傾斜のベクトル図もスケールが図によって異なっていることに注意されたい。

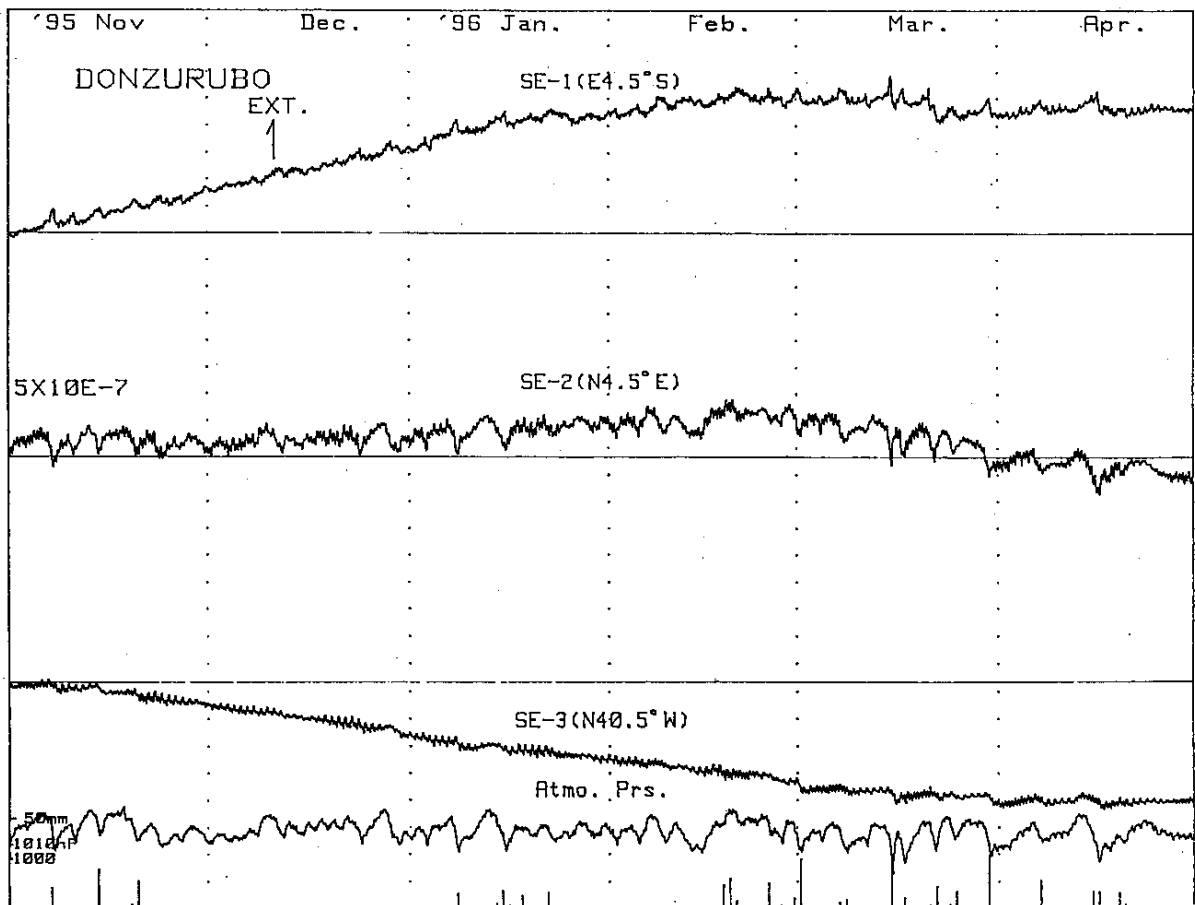
上宝では毎年3月ごろから融雪による記録の乱れが生じる（第3図）。由良のN9°Eおよび紀州のN80°E方向のひずみ計は不調であり、安定した記録が得られていない（第6図）。また、両観測点とも、収録ソフトの不調のため、4月中旬から全成分欠測となっている（第6図）。上賀茂の鉛直振子傾斜計S45°E成分は調整による乱れが大きい（第4図）。第8図は伊豆半島の河津と湯ヶ島で観測されたひずみ変化である。両観測点における観測はこの3月11日をもって中止した。



第1図 総合観測線の観測点位置図

Fig.1 Observation stations consisting of the monitoring chains

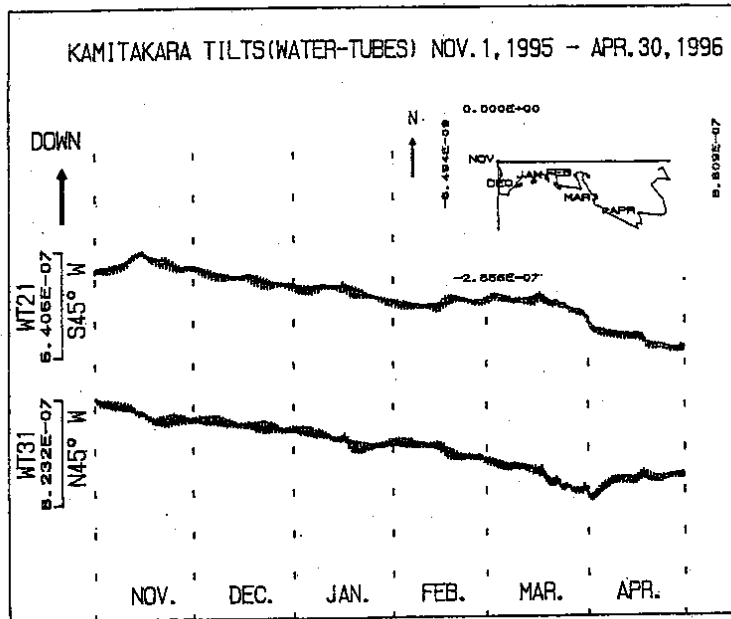
屯鶴峯におけるひずみ変化 Nov. 01, 1995-Apr. 30, 1996



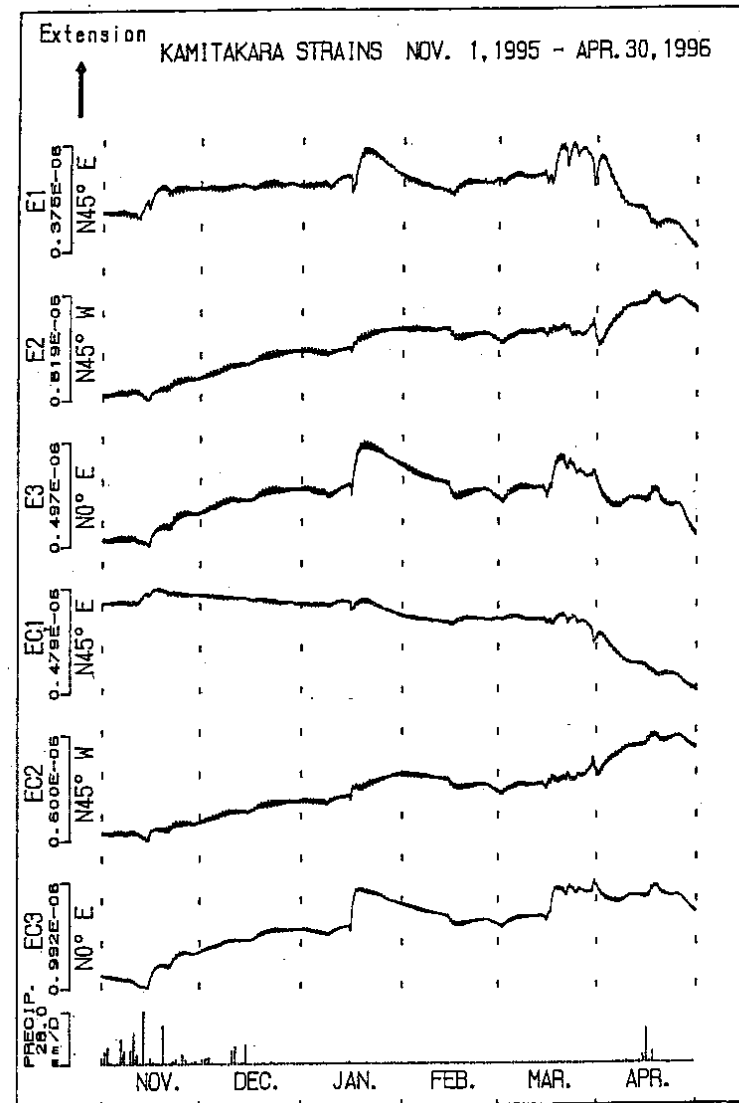
第2図 屯鶴峯におけるひずみ変化

Fig. 2 Strain change at Donzurubo

上宝における傾斜変化



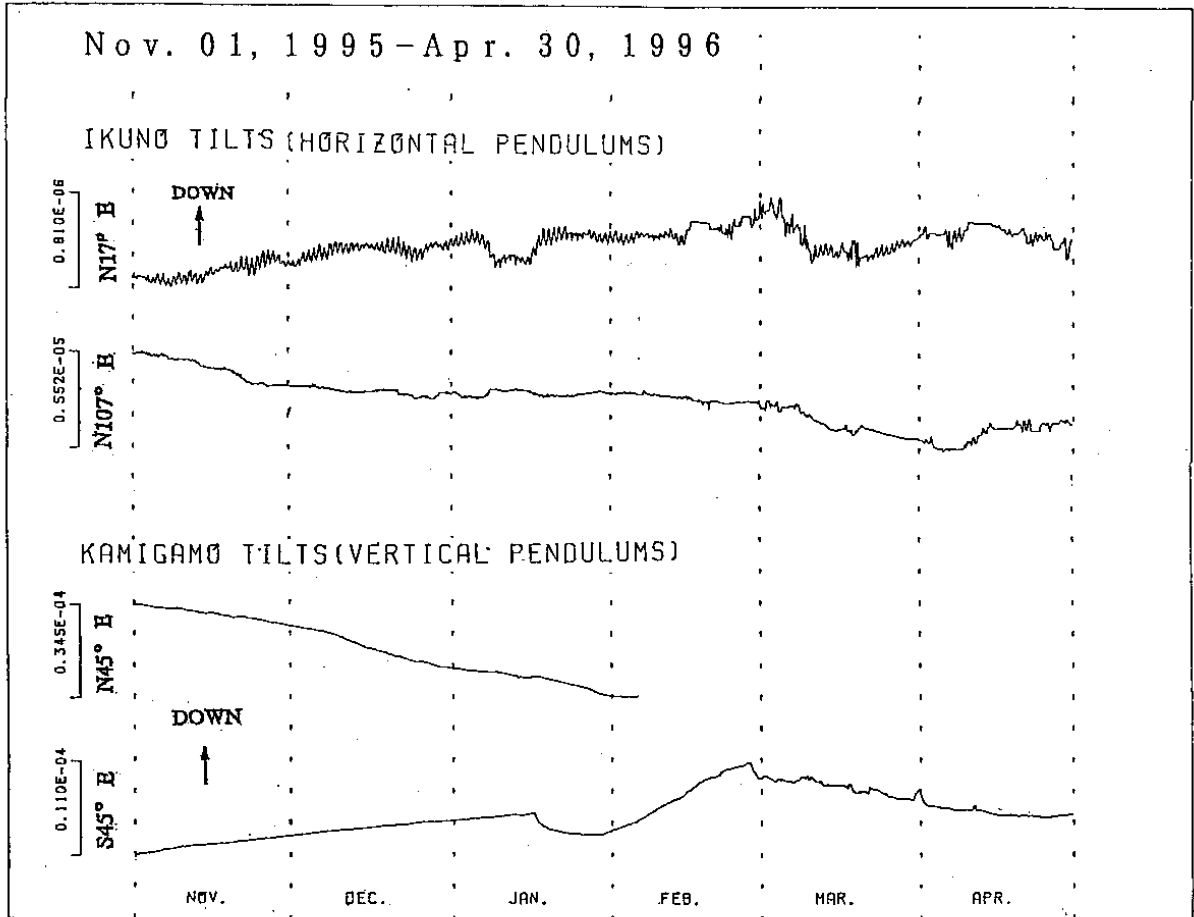
上宝におけるひずみ変化



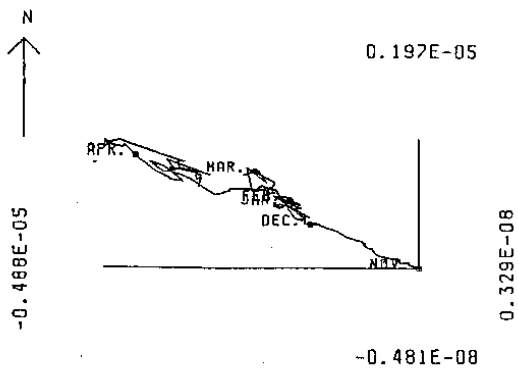
第3図 上宝における傾斜およびひずみ変化

Fig. 3 Tilt and strain changes at Kamitakara.

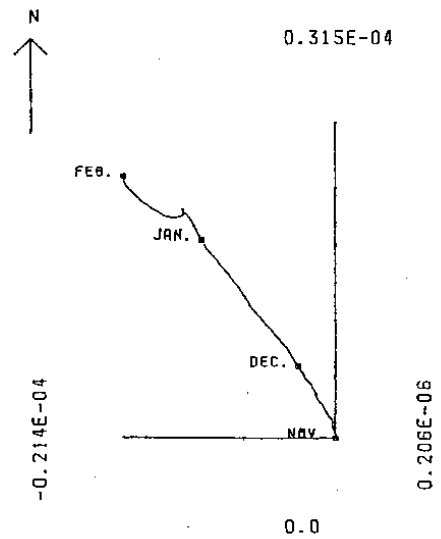
生野・上賀茂における傾斜変化



IKUNO TILT
(HORIZONTAL PENDULUMS)
NOV. 01, 1995 - APR. 30, 1996



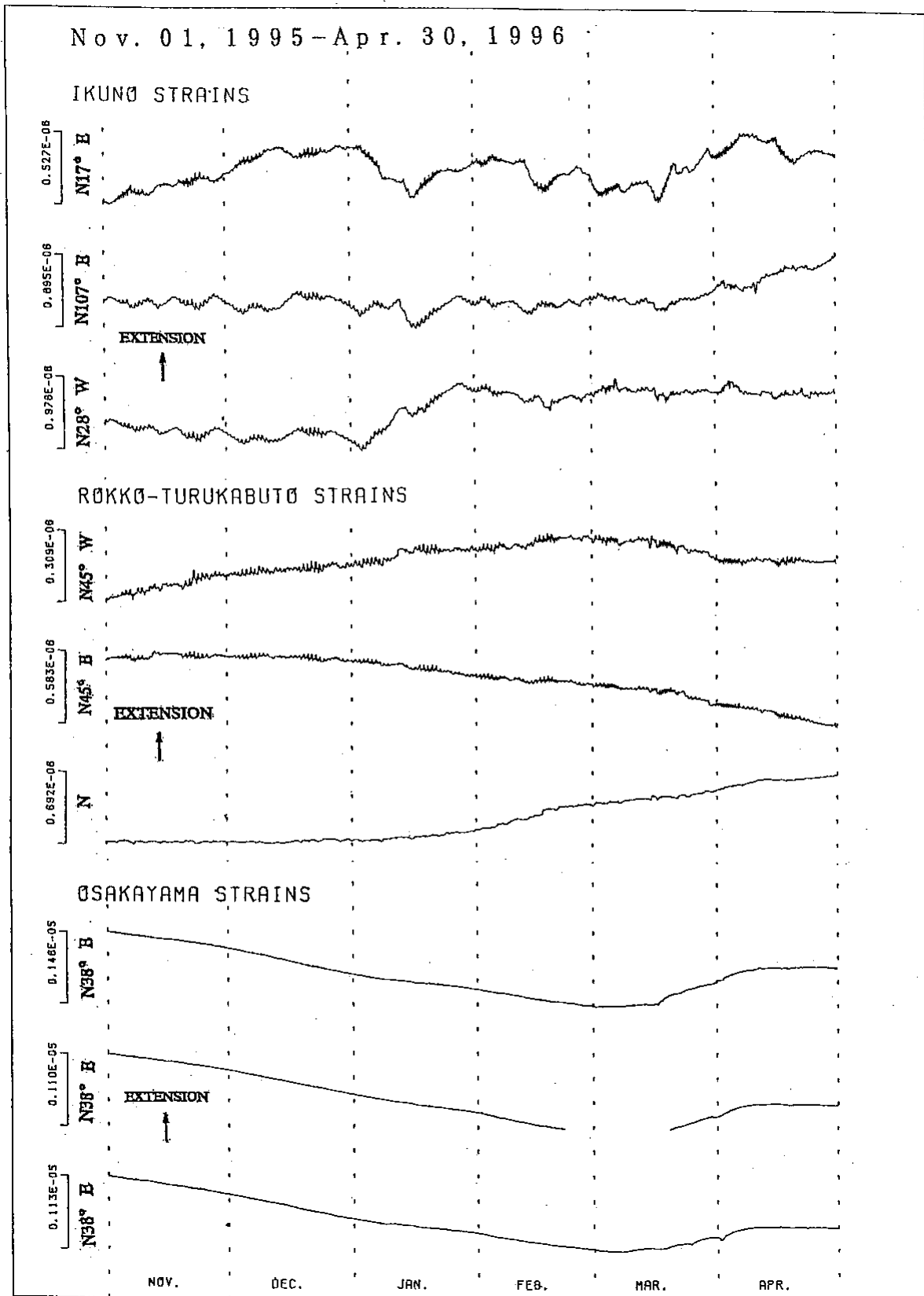
KAMIGAMO TILT (VERTICAL PENDULUMS)
NOV. 01, 1995 - APR. 30, 1996



第4図 生野および上賀茂における傾斜変化

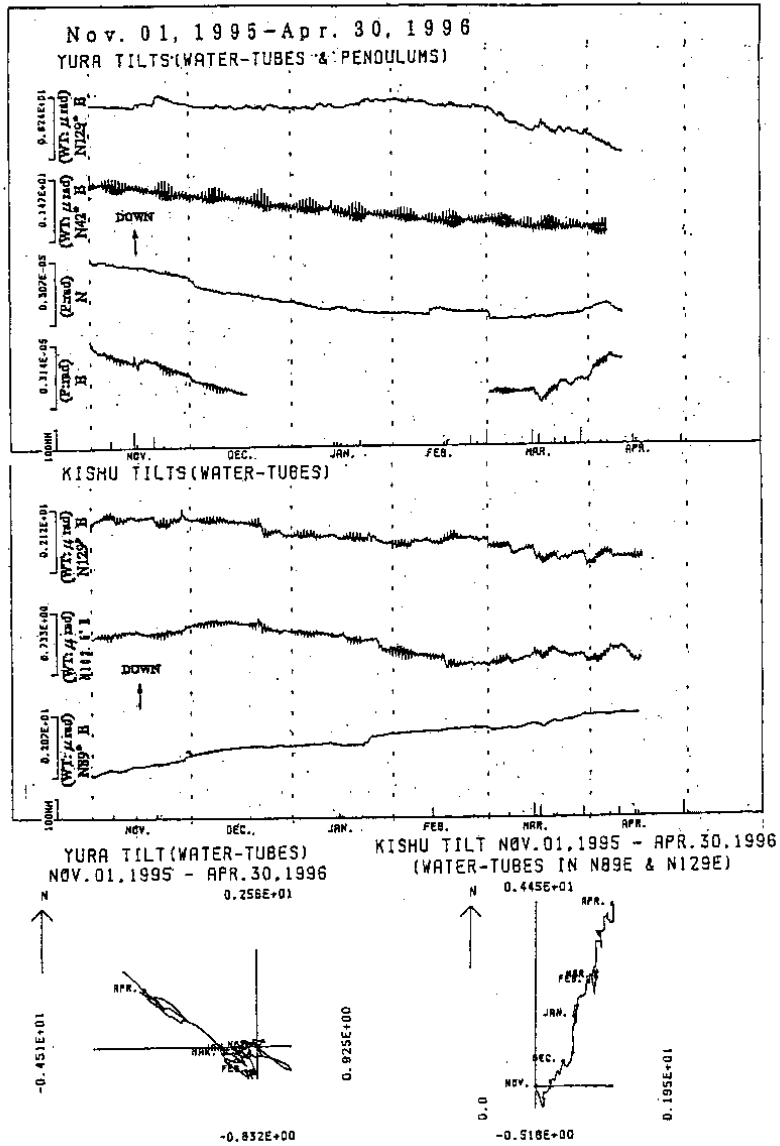
Fig. 4 Tilt changes at Ikuno and Kamigamo.

生野・六甲鶴甲・逢坂山におけるひずみ変化

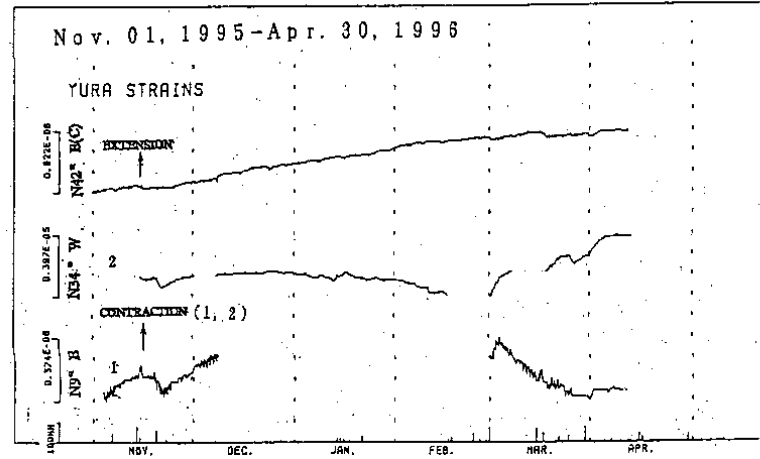


第5図 生野，六甲鶴甲，逢坂山におけるひずみ変化
 Fig.5 Strain changes at Ikuno, Rokko and Osakayama.

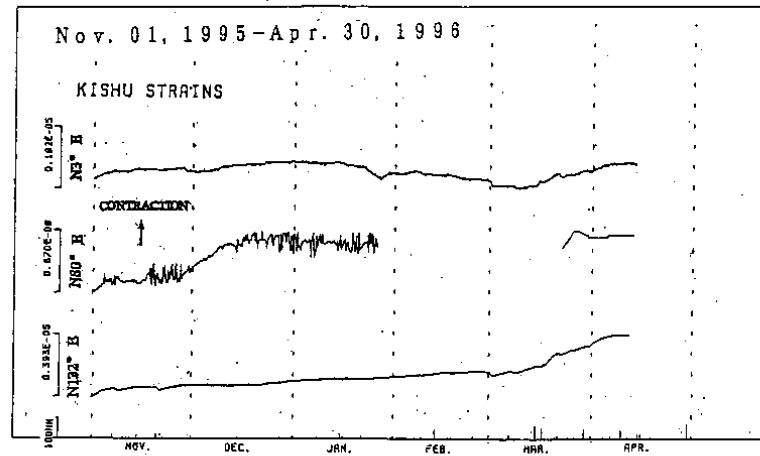
由良・紀州における傾斜変化



由良におけるひずみ変化



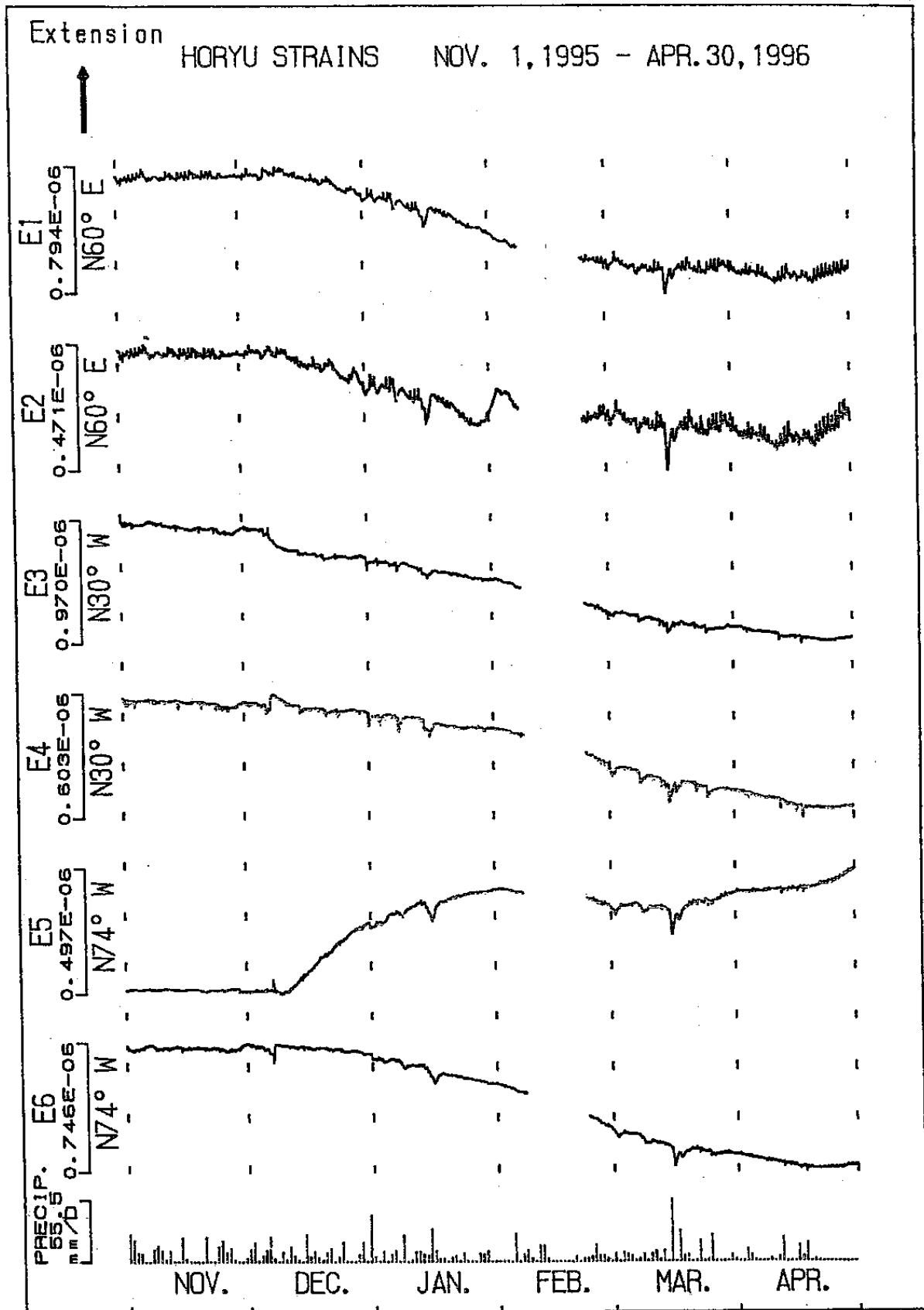
紀州におけるひずみ変化



第6図 由良，紀州における傾斜およびひずみ変化

Fig. 6 Tilt and strain changes at Yura and Kishu.

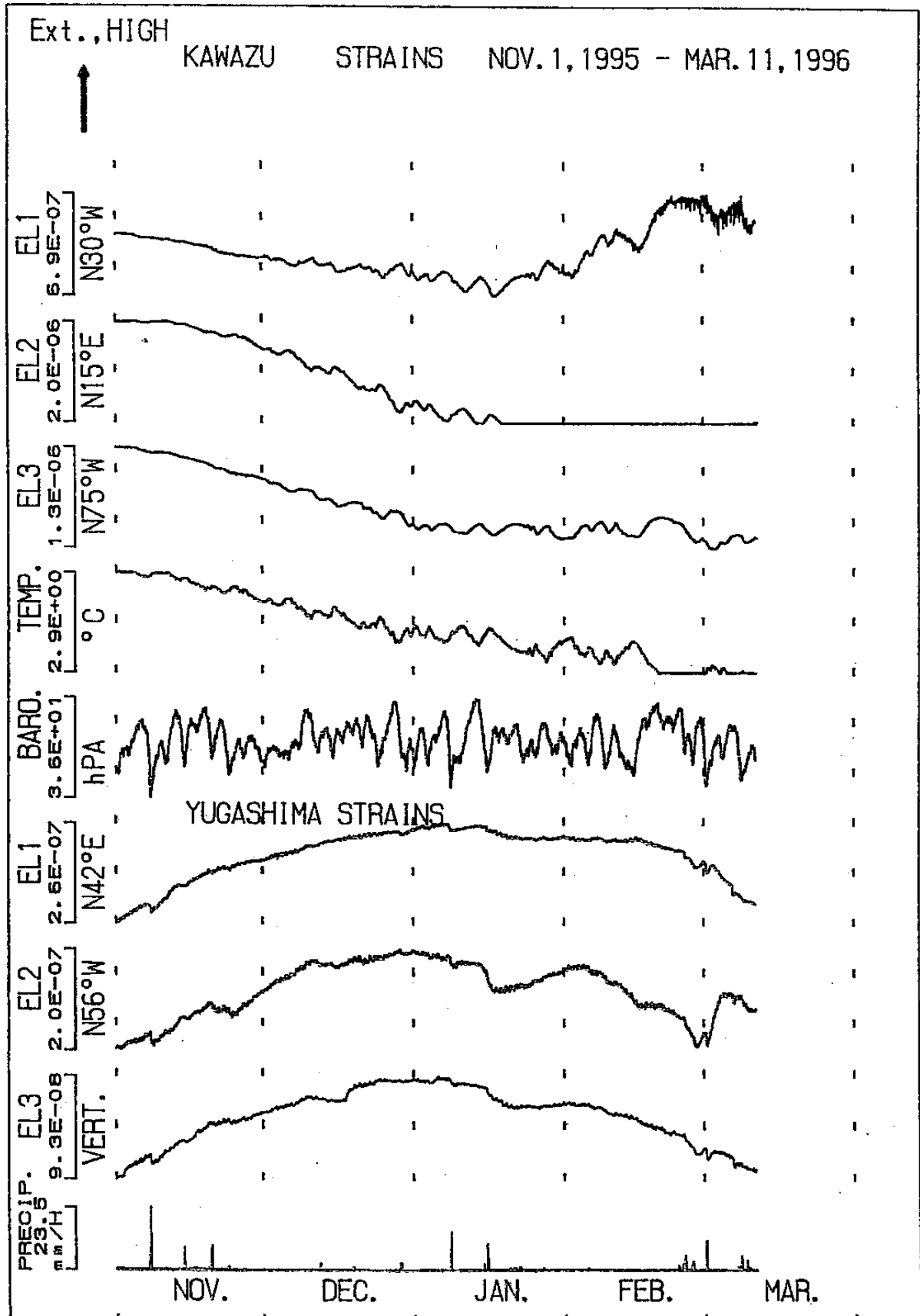
宝立におけるひずみ変化



第7図 宝立におけるひずみ変化

Fig.7 Strain change at Horyu.

伊豆半島、河津・湯が島におけるひずみ変化



第8図 伊豆の河津および湯ヶ島におけるひずみ変化

Fig. 8 Strain changes at Kawazu and Yugashima in the Izu Peninsula.